

活性化モデル商店街の成功事例

商店街：刈谷市刈谷駅前商店街振興組合

●キャッチフレーズ

みんなで まち興し！！

◎商店街の将来ビジョンの実績

- 1 平成 25 年 5 月 21 日に、当該商店街が中心となり「NPO 法人まちづくりかりや」が設立された。まちづくりかりやの事業目的は、中心市街地の活性化であり、当該商店街のイベントにおける運営の補佐、事務委託等を請け負う組織として、事業の幅を広げている。今後も刈谷駅前商店街のイベントの継続及び円滑な運営に欠かすことのできない存在として、中心市街地の賑わい創出の一旦を担っていく。
- 2 環境・防犯対策については、刈谷駅北口に設置されたプランターの植替えなど「花いっぱい運動」を展開し、環境美化を図ってきた。また、産・学・官連携事業として、愛知教育大学美術科の学生が製作したイルミネーションを、商店街を貫く通りアクアモールに設置し、夜間でも明るさを確保することで、コミュニティの醸成と犯罪抑止効果の向上が図られている。
また、事業実施の効率化については、Web アプリ「カリヤ駅前なび」の機能向上や、コンビニチケットシステムの採用などを通じて、来街者の利便性向上を図り、組合員への情報共有の効率化を実現している。
- 3 各種事業において、地区との連携はもちろんのこと、会場使用、道路使用、周知等において行政機関の協力、助言等に基づき適正に実施している。地元企業なども参画する「都心交流エリアワークショップ」を月に一度開催し、幅広い意見を事業に取り入れるとともに、地域の課題を考え、今後のまちづくりにおける指針を「中心市街地活性化中期計画」として取りまとめた。

◎事業実績

○産・学・官連携強化事業（24 年度～ 27 年度）

愛知教育大学と連携し、アクアモールイルミネーション事業を実施（24 年度、25 年度）

同大学美術科の学生を中心に、近隣小中学校の生徒及び周辺住民の作成したランプシェードをアクアモールで展示する「夜のパブリックアート展」を開催した。（26 年度）

同大学美術科の学生が作成したアートを北口駅前広場において展示した。（27 年度）

○情報誌「あくあ」発行事業（24 年度～27 年度）

地域のグルメ、イベント情報等を掲載した情報誌を年に 4 回（26 年度のみ 3 回）発行した。

○コミュニティ醸成事業（24 年度～27 年度）

「スペース Aqua ふれあい交流広場事業(UNO セレクション)」「ワンコインワークショップ」「カリアンゼミ」などを、地域のコミュニティ施設であるスペース Aqua で開催した。

○イベント参加者の利便性増進事業（25 年度）

「カリアンナイト」「カリコン」などの事業実施にあたり、コンビニチケットシステムを採用し、運営の円滑化、効率化と集客力の向上を図った。

○都心交流エリアにおける活性化中期計画の策定に向けた調査研究（25 年度、26 年度）

商店街が中心市街地活性化中期計画を作成するに当たり、その準備として刈谷駅周辺地域の土地利用、活性状況 課題等について調査を実施した。

○スペース Aqua プロジェクト事業（27 年度）

「スペース Aqua」を学生の拠点づくりの場として、愛知教育大学の学生によるワークショップを開催した。

◎事業の効果

- ・ 商店街が実施する事業数が増加したことで、イベントの主催となる商店街の名前を見かける機会が増え、来街者に対する知名度向上を図ることができた。
- ・ 地域のコミュニティ施設であるスペース Aqua を活用し、愛知教育大学等の協力を得ながらワークショップを開催したことで、これまで商店街を訪れる機会のなかった客層を顧客として取り込むことに成功している。



（カリアンゼミ）